

MATLAB®による画像処理・コンピュータビジョンの ご評価にあたって

– サンプルファイル（スクリプト）の実行方法 –

0 : 評価用のスライドとデモファイルの入手

- 下記のMATLAB Central File Exchangeから
“画像処理・コンピュータービジョン評価キット”をダウンロード
 - <https://jp.mathworks.com/matlabcentral/fileexchange/68741-ipcv-eval-kit-for-japanese>
 - “Download”ボタンをクリックしてzipファイルをダウンロードし、解凍
 - 展開すると説明スライドのPDFとデモファイルフォルダが展開される

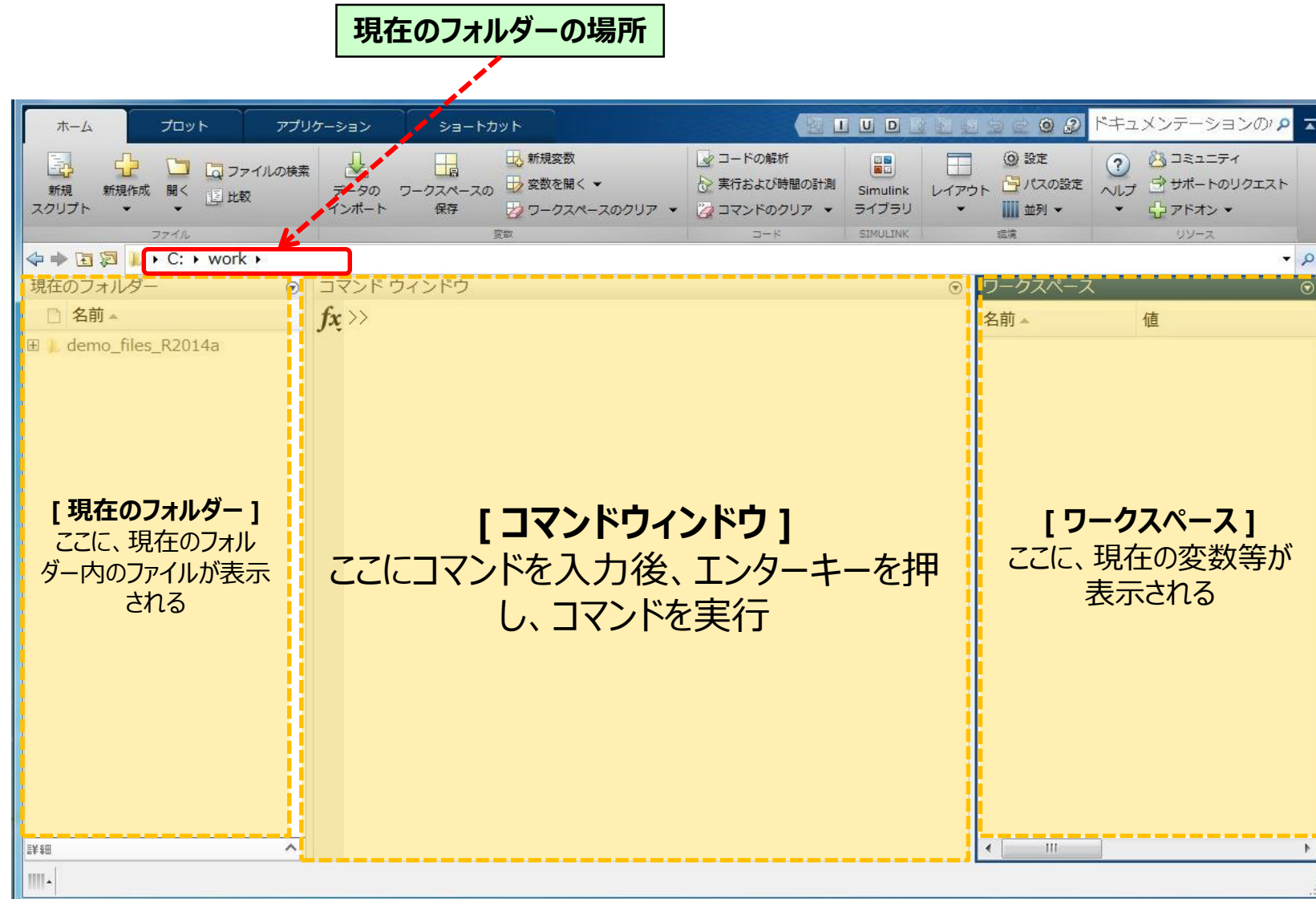
1 : MATLABを起動

- MATLABの起動方法

- http://www.mathworks.co.jp/jp/help/install/ug/post-installation-tasks.html#bspjpr_-2

- Windows環境でショートカットから起動する場合、ショートカットで作業フォルダーを指定することで、MATLAB立上り時の"現在のフォルダー"を変更することができます。

MATLABの起動画面

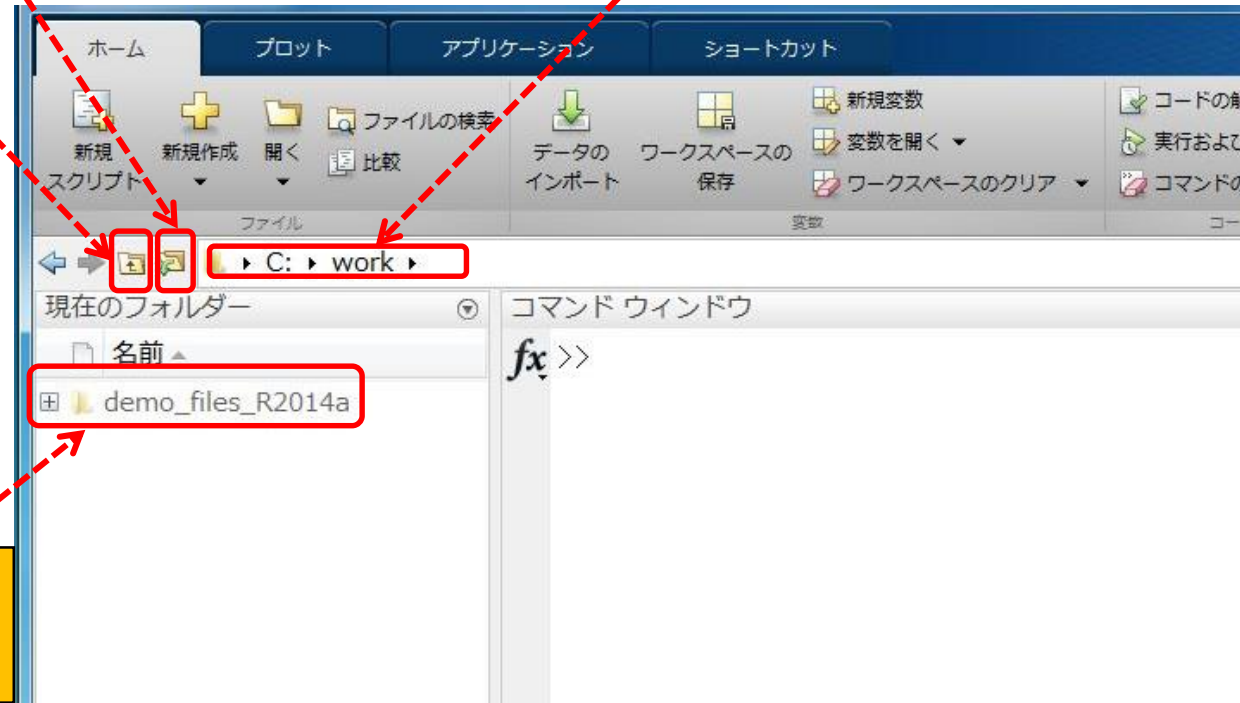


2 : サンプルファイルの場所へ移動


フォルダーを選択して
移動

現在のフォルダーの場所 がここに表示されます

上のフォルダー階層へ
移動



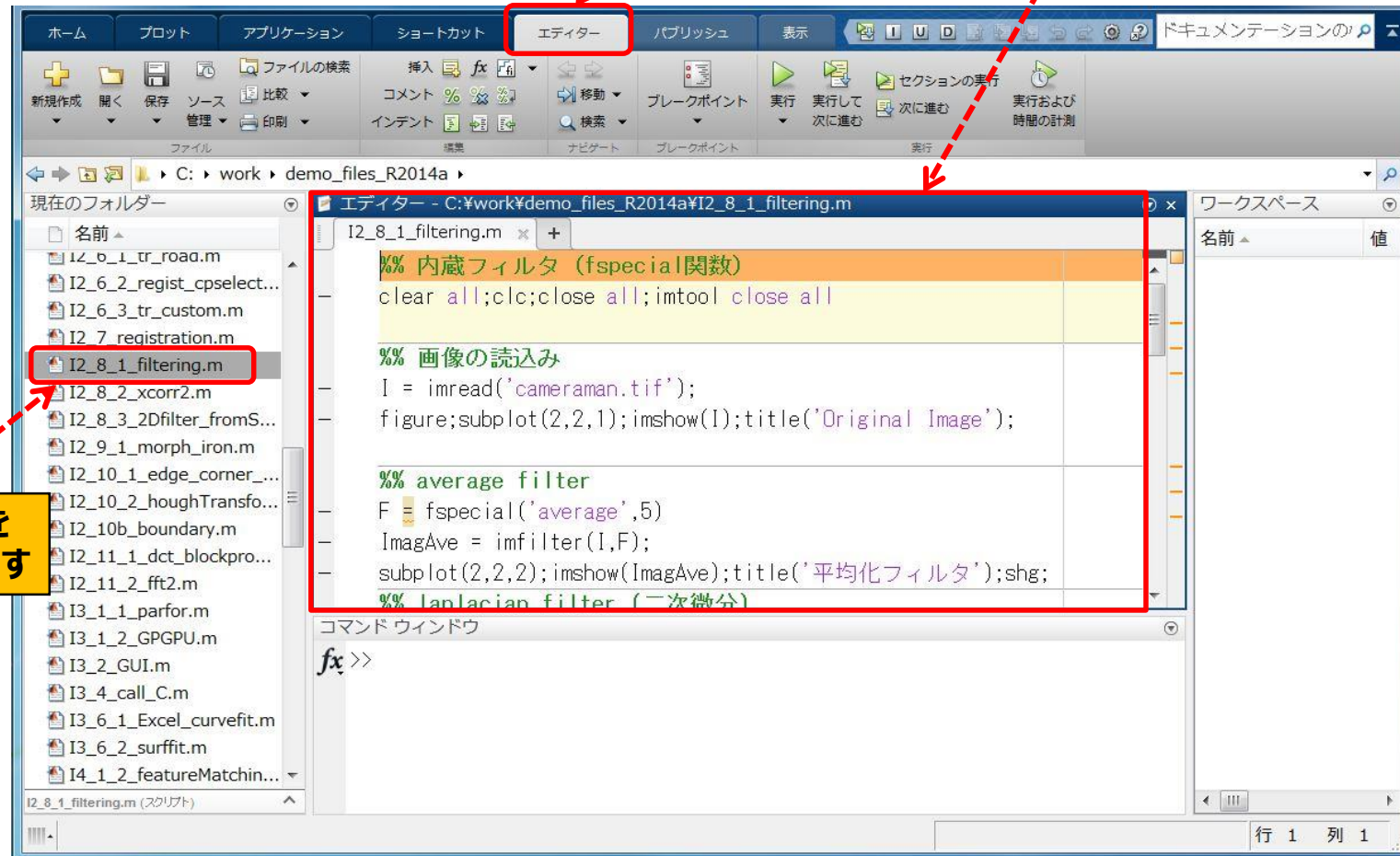
ダブルクリックで
下のフォルダー階層へ
移動

注意)  をクリックしても、
下の階層が見えるだけで移動はしていません。
現在のフォルダーの場所の表示で、
現在のフォルダーの位置を確認。

3 : サンプルファイル（スクリプト）を開く

エディター タブが
現われる

スクリプトが、エディター内に開く



所望のファイルを
ダブルクリックします

4 : サンプルプログラム (スクリプト) を実行

カーソル

このボタンを押すと、プログラムが最初から最後まで実行される

このボタンを押すと、現在行のセクションが実行され、次のセクションの先頭にカーソルが移動する

実行 **実行して次に進む**

work \ demo_files_R2014a \

エディター - C:\work\demo_files_R2014a\I2_8_1_filtering.m*

I2_8_1_filtering.m* x +

%% 内蔵フィルタ (fspecial関数)

clear all;clc;close all;imtool close all

現在行 (カーソルが点滅)

%% 画像の読み込み・表示

I = imread('cameraman.tif');

figure;subplot(2,2,1);imshow(I);title('Original Image');

この間が1つのセクション

%% average フィルター

F = fspecial('average',5) % フィルター係数の計算

ImagAve = imfilter(I,F);

subplot(2,2,2);imshow(ImagAve);title('平均化フィルタ');shg;

%% laplacian filter (二次微分)

コマンドウィンドウ

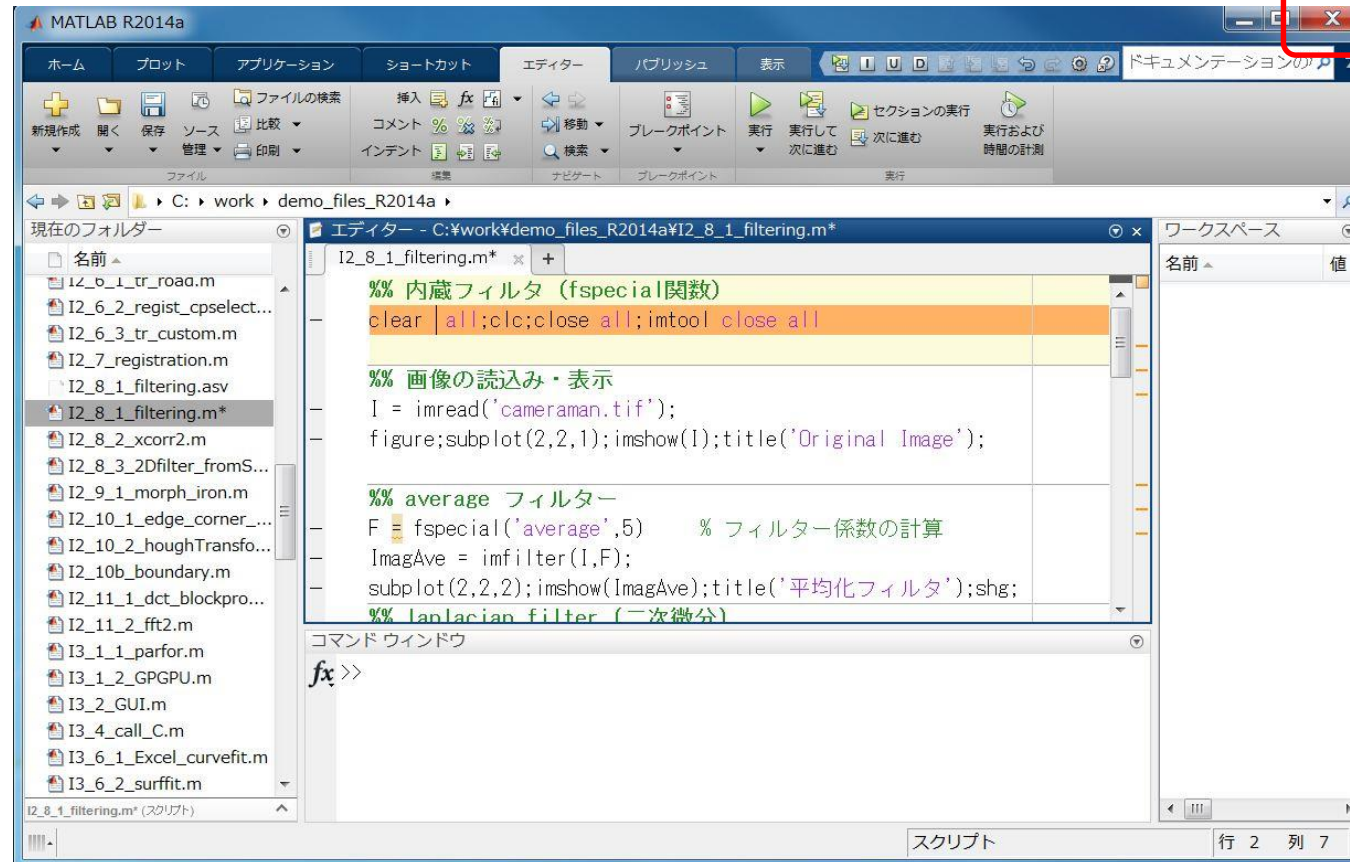
fx >>

%% は、コメント記号。%の後は無視される

%% で始まる行はセクションの区切り行。
%% の後の文字は無視される
(%が2つの後にスペース)

5 : MATLABの終了

このボタンを押して
MATLABを終了





© 2018 The MathWorks, Inc. MATLAB and Simulink are registered trademarks of The MathWorks, Inc. See www.mathworks.com/trademarks for a list of additional trademarks. Other product or brand names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.